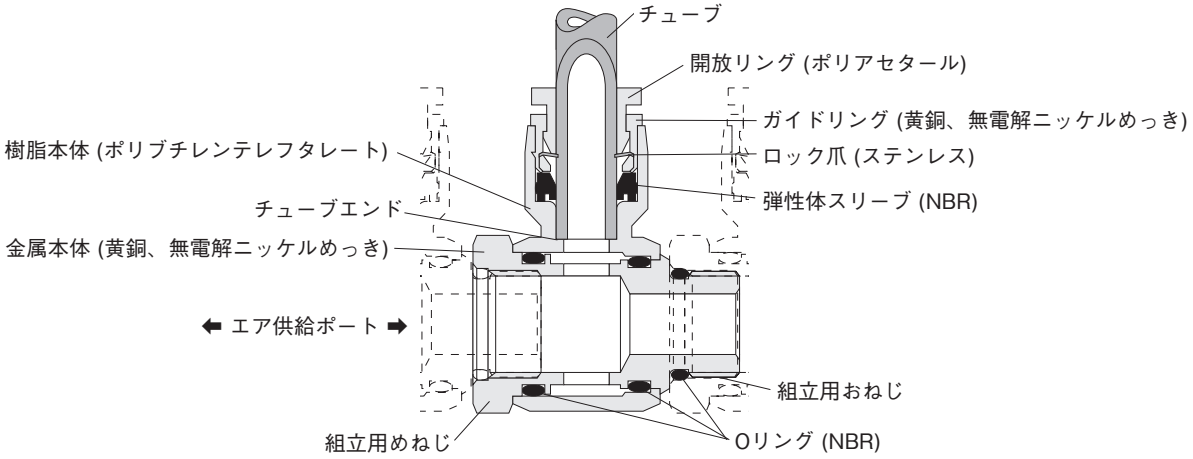
サプライジョイント

●配管用鋼管と同内径、同流量でも配管スペースは半分ですみます。
●44タイプ83機種と種類も豊富、自由な組合せができます。
●耐錆性に優れたニッケルめっきが標準仕様です。

仕様

使用流体	空気
最高使用圧力	0.9MPa
使用真空圧力	−100kPa
使用温度範囲	0〜60℃
推奨チューブ	ナイロンチューブ・ウレタンチューブ
販売単位	1個

内部構造と主要部材質



●SLB

メイン側ねじサイズ	サブメイン側ねじサイズ (R)			
	1/8	1/4	3/8	1/2
M8×1 (8)	8-01	—	—	—
M12×1 (12)	12-01	12-02	—	—
M14×1 (14)	—	14-02	14-03	14-04
M18×1 (18)	—	—	18-03	18-04

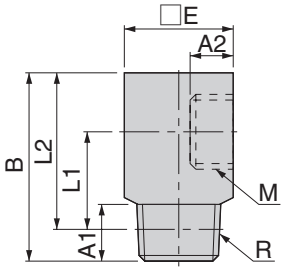
注文記号

SLB □ — □

- 支管口のサイズ
- 接続ねじサイズ

寸法図 (mm)

エルボ
SLB



形　式	R	M	A1	A2	B	L1注	L2注	□E	有効断面積 (mm²)	質量 (g)
SLB8-01	R1/8	M8×1	8	7	28	16	24	17	21.4	42
SLB12-01	R1/8	M12×1	8	8.5	29	15	25	19	24.5	48
SLB12-02	R1/4		11		32	16	26		40	50
SLB14-02	R1/4	M14×1	11	8.5	37	19	31	22	42.7	80
SLB14-03	R3/8		12		38	19.7	31.7		46	82
SLB14-04	R1/2		13		39	18.8	30.8			93
SLB18-03	R3/8	M18×1	12	9	44	23.7	37.7	27	49	141
SLB18-04	R1/2		13		45	22.8	36.8			157

注：L1、L2寸法は、ねじ込み後の参考寸法です。

安全上のご注意（サプライジョイント）

下記はサプライジョイント固有の「安全上のご注意」です。下記以外の「安全上のご注意」につきましては総合パーソナルカタログの前付を必ずお読みください。

⚠警 告

●ねじ側、またはチューブ側が揺動、または回転する場所でのご使用はクイック継手ロータリタイプ以外は使用しないでください。揺動、または回転により継手本体の破損の原因になります。

●曲げ荷重が加わったり、又は連結数が多い場合にはブラケット等の支持具をご使用ください。使用しない場合は、取付け相手側の変形、又は本体の破損の原因となる可能性があります。

⚠注 意

●組付け時、及び取外し時にはメインブロック組立用スパナをご使用ください。使用しない場合は、組立困難、本体変形の原因となる可能性があります。

取扱い要領と注意事項

●取付

本体取付上の注意

① 本体取付けは、継手の六角部、又は内径六角部を利用し適正な工具を使用して締め付けてください。

② ねじを締め付ける際、表の推奨締付けトルクを参考に締め付けてください。推奨締付けトルク以上で締め付けた場合、ねじ部の折れやガスケットの変形による漏れの原因となる可能性があります。推奨締付けトルク以下で締め付けた場合、ねじ部の緩みや漏れの原因となる可能性があります。

③ 配管方向が締め付け後、変わらない製品は本体の締付けトルク範囲内で調整してください。

推奨締付けトルク及びシーロック色、ガスケット材質

ねじ種類	ねじサイズ	締付けトルク	シーロック色	ガスケット材質
メートルねじ	M3×0.5	0.7N·m	―	SUS304 NBR
	M5×0.8	1.0～1.5N·m		
	M6×1	1.8～2.3N·m		
	M8×1	3～5N·m		合成ゴム （NBR）
	M12×1	5～10N·m		
	M14×1	10～20N·m		
	M18×1	10～20N·m		
管用テーパーねじ	R1/8	7～9N·m	白色	―
	R1/4	12～14N·m		
	R3/8	22～24N·m		
	R1/2	28～30N·m		

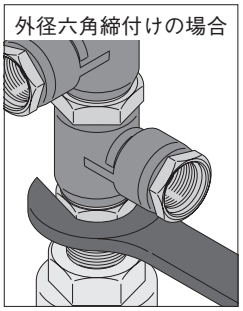
本体取外し上の注意

① 本体の取外しは、継手の外径六角部、又は内径六角部を利用し適正な工具を使用して取外してください。

② 取外した相手側のねじ部に付着しているシール剤を除去してください。シール剤が付着していると、周辺機器に入り込み故障の原因となる可能性があります。

ねじの締付方法

ねじの締め付けには、外径六角部をスパナで締め付けてください。（詳細は、本文を参照ください。）



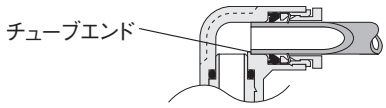
注 クイック継手のシール剤はそのままで数回の再使用が可能ですが、相手機器のねじ部にシール剤が付着していることがあります。機器のめねじ内部は必ず掃除をしてください。

●チューブの着脱

チューブ装着上の注意

① チューブの切断面が直角に切断されていること、チューブ外径にキズがないこと、及びチューブが楕円してないことを確認してください。

② チューブを装着する際、チューブがチューブエンドまで差し込まれていないと漏れの原因となる可能性があります。



③ 装着後、チューブを引いて抜けないことを確認してください。

④ チューブ装着前に、開放リングを空押ししないでください。チューブが抜ける原因となる可能性があります。

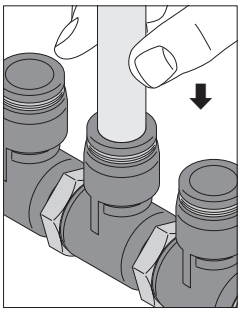
チューブ取外し上の注意

① チューブを取外す際、チューブ内の圧力がゼロになっていることを確認してください。

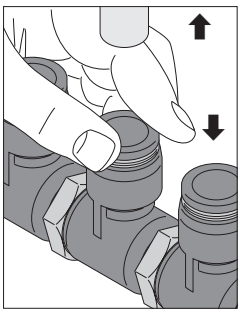
② 開放リングを均等に奥まで押し込み、チューブを手前に引き抜いてください。押し込みが不十分の場合、抜けなかったり又はチューブが傷付き削りかすが継手内部に残る可能性があります。

チューブの着脱方法

① チューブの装着
メインブロックの継手タイプ（クイック継手）は、チューブをチューブエンドまで差し込むだけでロック爪が固定、弾性体スリーブがチューブの外周をシールします。



② チューブの取外し
チューブを取外す場合、開放リングを押すことによりロック爪が開き、チューブを抜くことができます。
取外しの際は、必ずエアを止めてから行なってください。



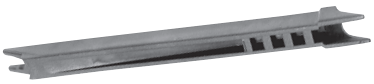
取扱い要領と注意事項

配管スペースが狭くて離脱が困難な場合には、専用工具が用意されていますので最寄りの弊社営業所へご相談ください。

チューブ離脱用専用工具

φ3･φ4･φ6 チューブ用

注文記号：**UJ-1**



φ6･φ8･φ10･φ12チューブ用

注文記号：**UJ-2**

●使用チューブ

ナイロンチューブ、ウレタンチューブのいずれも使用できます。チューブの外径精度は、ナイロンチューブは呼称寸法の±0.1mm以内、ウレタンチューブは呼称寸法の±0.15mm以内、楕円度（長径と短径の差）は0.2mm以内のものを使用してください。（弊社製チューブの使用を推奨します。）
なお、弊社の純正品または適合品（推奨品）以外のチューブを使用した場合、チューブ抜け、エア漏れ等の不具合が発生する可能性がありますので、空気圧システムを組む前に必ずご確認ください。

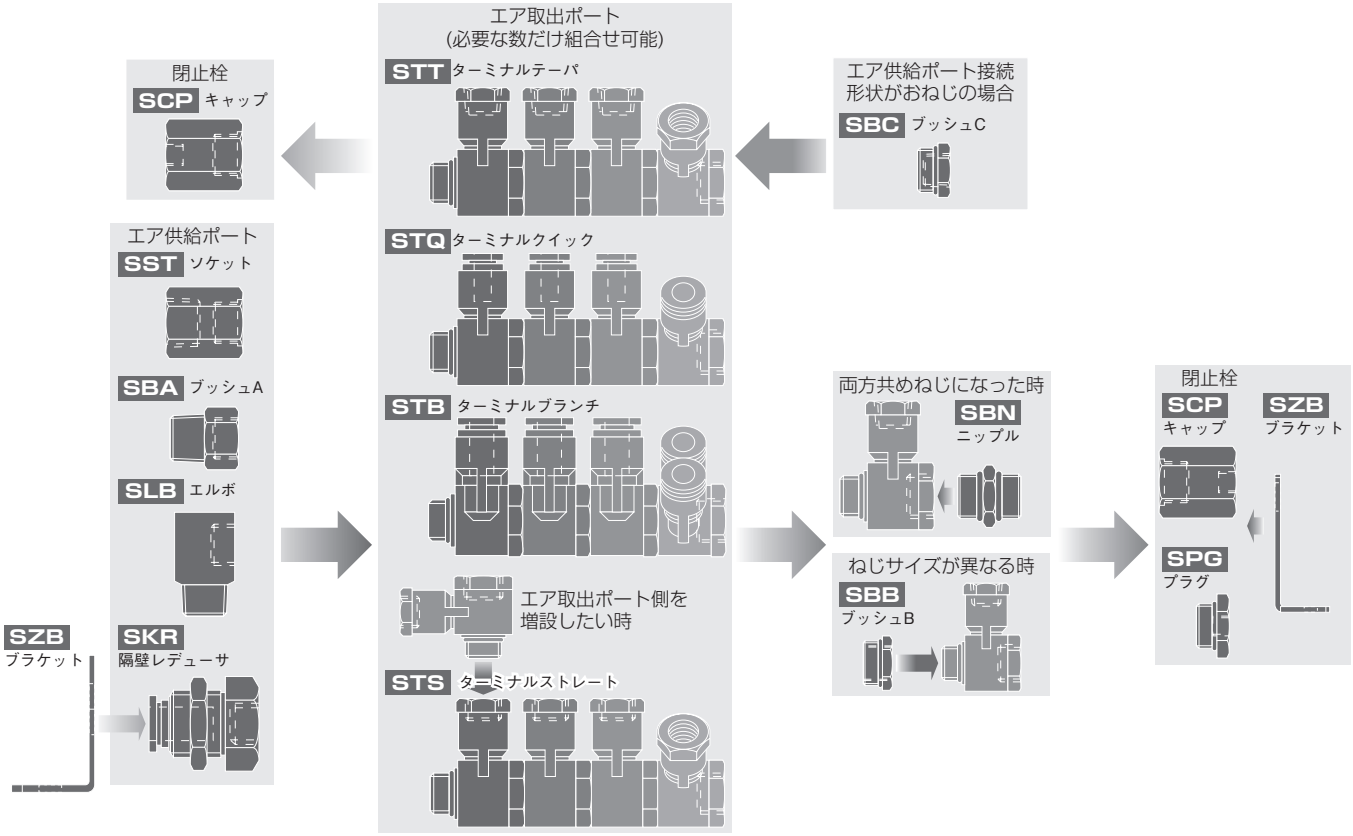
注

1. チューブは外面に傷のないものを使用ください。繰り返し使用して傷がついた場合はその部分を切断してください。
2. チューブは継手付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因となります。ナイロンチューブ、ウレタンチューブを使用した場合の最小曲げ半径のめやすは下表の通りです。
3. 極軟質チューブの使用は引抜強度が著しく低下しますので使用しないでください。
4. チューブ着脱時は、必ず空気源の供給を止めてください。また必ず配管内のエアが完全に排気された事を確認してから行なってください。

mm

チューブサイズ	最小曲げ半径	
	ナイロンチューブ	ウレタンチューブ
φ4	20	10
φ6	30	15
φ8	50	20
φ10	80	27
φ12	150	35
φ16	500	−

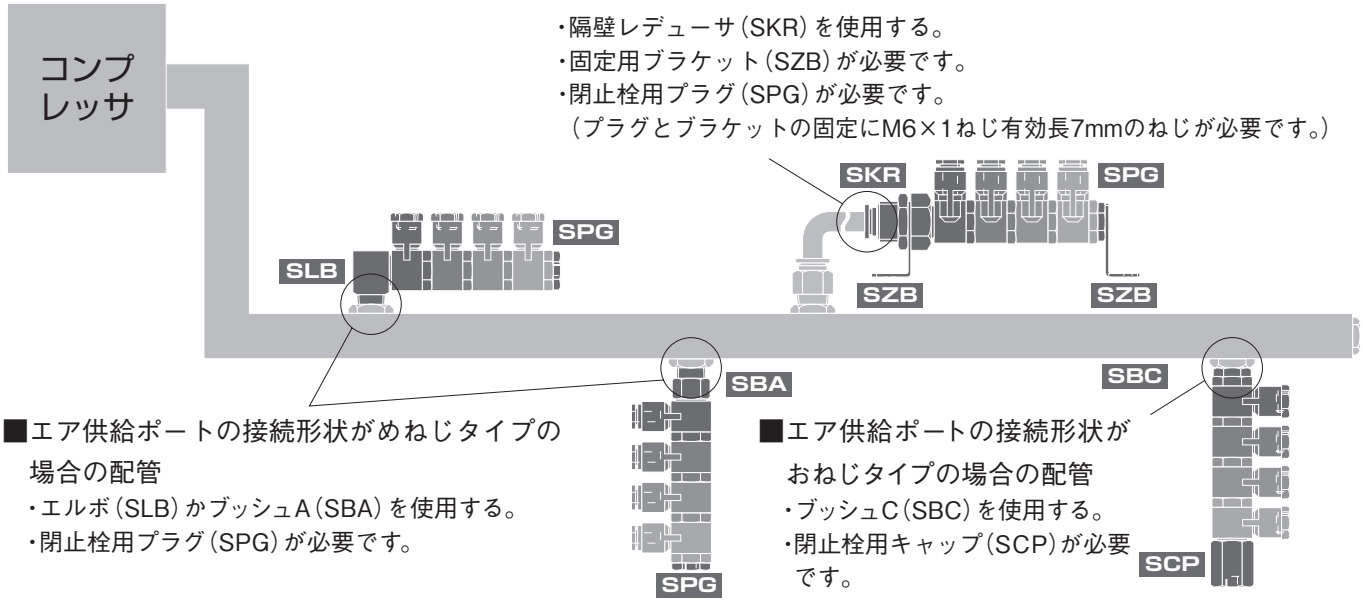
取付方法



■上図に示してある記号:S□□のSの部分が組立用のメートルねじになるため、同サイズのねじであれば組合せることができます。

- ・エア取出ポート(3タイプ)…… ターミナルクイック(STQ)、ターミナルブランチ(STB)、ターミナルテーパ(STT)(必要な数だけ組合せ可能)
- ・エア供給ポート(5タイプ)…… ブッシュA(SBA)、エルボ(SLB)、ブッシュC(SBC)、ソケット(SST)、隔壁レデューサ(SKR)
- ・閉止栓(2タイプ)…… プラグ(SPG)、キャップ(SCP)
- ・組立用のねじサイズが異なる時…… ブッシュB(SBB)
- ・組立ねじが両方共めねじになった時…… ニップル(SBN)
- ・固定用ブラケット …… ブラケット(SZB)

配管例



■エア供給ポートの接続形状が継手の場合の配管

- ・隔壁レデューサ(SKR)を使用する。
- ・固定用ブラケット(SZB)が必要です。
- ・閉止栓用プラグ(SPG)が必要です。
  (プラグとブラケットの固定にM6×1ねじ有効長7mmのねじが必要です。)

■エア供給ポートの接続形状がめねじタイプの場合の配管

- ・エルボ(SLB)かブッシュA(SBA)を使用する。
- ・閉止栓用プラグ(SPG)が必要です。

■エア供給ポートの接続形状がおねじタイプの場合の配管

- ・ブッシュC(SBC)を使用する。
- ・閉止栓用キャップ(SCP)が必要です。